

# ますずま

KIZUNA

10

2021年  
令和3年

## 特集 職場と人権

今後の新しい  
働き方を考える



### INDEX

- ② 「コロナ禍におけるワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭の調和)を考える」  
谷口 真由美さん (法学者・大阪芸術大学 客員准教授)
- ③ 「テレワーク時代のワーク・ライフ・バランス」  
守島 基博さん (学習院大学経済学部経営学科 教授・一橋大学 名誉教授)
- ④ 「テレワークでも止まらないハラスメントの実態」  
藤山 晴久さん (株式会社インプレッション・ラーニング 代表取締役)
- ⑤ 「「コロナ失業」への心理的な支援」  
廣川 進さん (法政大学キャリアデザイン学部 教授)
- ⑥ 「就職氷河期世代の安定就労を目指す！」  
産業労働部政策労働局労政福祉課 雇用就業室
- ⑦ 「諦めたらあかん! まだ大丈夫や」  
鈴木 啓之さん (特定非営利法人 人生やり直し道場 理事長)
- ⑧ 情報ぷらざ



わたしたち一人ひとりがいきいきと生活し、仕事にやりがいや充実感を持って働くためには、仕事と生活の調和が大切です。また、コロナ禍において加速する新しい働き方を踏まえた職場環境の整備が求められています。

本号では、仕事と生活のバランスを考えながら、能力を発揮して働くためにできることを考えてみましょう。

## 特集 職場と人権

# コロナ禍におけるワーク・ライフ・バランス (仕事と家庭の調和)を考える

法学者・大阪芸術大学 客員准教授

谷口 真由美 さん



### プロフィール

1975年大阪市生まれ。専門は国際人権法、ジェンダー法、憲法など。過去には大阪国際大学、大阪大学でも教鞭を執っていた。専門である人権をはじめ、様々な社会問題に大阪のおばちゃん目線で鋭くつっこみ、問題提起し、誰にでも分かりやすく解説。オンラインサロンも主宰。

いま、何かを考えるとときに避けては通れないのが、新型コロナウイルス(COVID-19)の影響です。この感染症の世界的大流行は、世界中の人々の生活や、社会経済活動に多大な影響を与えています。「みんなが大変な状況」であることは間違いないのですが、そのなかでもとくに、弱い立場にある人々への影響が深刻であることは、さまざまな報道からも明らかです。

### 生きていくにも大変な状況

2020年春以来、繰り返し緊急事態宣言、まん延防止等重点措置などが発令され、感染症対策のために人々の生命と健康を守ることを前提として、人々に対する行動が制限される場面が増えています。そのため、飲食店など多くの業種で社会経済活動を主軸で担う大人が、ひとりで生きていくにも大変な状況があります。また、ケア

が必要とされる人たちがいる家庭では、働くこともままならない状況が生じています。

### 働く人の問題

このコロナ禍において仕事もどうなるかわからない状況ですが、テレワークが可能な職種においてはテレワークが推奨されるようになりました。しかしながら、家に二人以上テレワークを行う人がいることは日本の狭い家屋において、仕事場所が取れないなどの問題から、ストレスが増大したという統計もあります。また、昨年2月に公表された小・中・高校などの全国一斉休校は、多くの人たちに多大な影響を及ぼし、特に自宅にお子さんがおられるエッセンシャルワーカーの方たちは仕事にも集中できない状況が生まれました。もはや、ひとりの働く人の問題ということにはしては、

何も解決ができない状況が見えてきました。

### 改めて考える

そんななかで、ワーク・ライフ・バランスを改めて考えるということは大変に意義のあることです。こんな状況にあるからこそ、働く人たちのプライベートに、企業や職場が配慮しなければならぬという意識が一気に加速したともいえるでしょう。仕事と家庭の調和がとれていないと、どちらもダメになるということも実感として理解できてきた方も増えてきたのではないのでしょうか。

ピンチはチャンスという言葉がありますが、できないよね、進まないよねといわれていたテレワークも一気に進んできました。いま、変革のチャンスでもありませんね。

# テレワーク時代の ワーク・ライフ・バランス

学習院大学 経済学部経営学科教授  
一橋大学 名誉教授

守島 基博 さん

今回のコロナウイルス感染拡大がもたらした変化のひとつが、テレワーク・在宅勤務の急激な増加です。(株)パソナ総合研究所の調査によると、兵庫県でも、昨年の第1回緊急事態宣言発出の前後で見ると、3月上旬には10・6%であったテレワークを行う人の割合が、4月上旬には約2・5倍増の25・2%となっています。ワーク・ライフ・バランスという観点で見した場合、この変化はどつこう問題を引き起こすのでしょうか。

## 家庭内に持ち込まれた仕事

この変化は、端的に言えば、これまで家庭とは物理的または地理的に分離されていた仕事が、家庭に乱入してき

たということなのではないでしょうか。少し穏やかな言い方をすれば、家庭と職場の境界線が極めて曖昧になったということとです。私は、そのため、ワーク・ライフ・バランスの考え方そのものを見直す必要が出てきていると考えます。

これまでのワーク・ライフ・バランスは、ワークと家庭などのライフが異なった場所で行われることを前提とし、ワークの要求がライフに影響を及ぼし過ぎないためには何をすればよいかという議論が主でした。過度に長い労働時間(非会社にいる時間)を短くして、ライフに使うことのできる時間を増やすというような施策が行われてきました。

ただ、テレワーク・在宅勤務になると、家庭と職場が、物理的に分かれているという大前提が崩れるのです。結果として、職場と家庭の物理的区別によって、かろうじて保ってきた、ワークとライフのバランスが壊れてしまうケースが多いと考えられます。例えば、これまでの仕事の中に幼い子供が泣き出したとしても、優先すべきなのは子供か仕事を迷う必要は無かったです。2つの事象は別々の場所で起こっていたからです。

## 新たなワーク・ライフ・バランスの確立へ

今後、テレワーク・在宅勤務がある程度継続する中で、ワーク・ライフ・バランスの考え方は変わる必要があります。そのなかで重要なのは、働く人によ



## プロフィール

専門は人材マネジメント論。イリノイ大学産業労使関係研究所博士課程修了(Ph.D.)。サイモン・フレイザー大学経営学部Assistant Professor、慶應義塾大学総合政策学部助教授、同大学院経営管理研究科教授、一橋大学大学院商学研究科教授を経て、2017年より現職。厚生労働省労働政策審議会委員などを兼任。2020年より一橋大学名誉教授。著書に『人材マネジメント入門』『人材の複雑方程式』『人事と法の対話』『全員戦力化 戦略人材不足と組織力開発』などがある。

る仕事のコントロールでしょう。家庭内に入ってきた仕事を管理し、ライフに影響を与えないようにする。そうした力を身につける事が重要です。雇用主にも、働き手にそうした権限を与えることが求められます。仕事に振り回されるのではなく、仕事を管理して、大切な家庭と家族を守る。それがテレワーク・在宅勤務時代に必要なワーク・ライフ・バランスなのです。



# テレワークでも止まらない ハラスメントの実態

株式会社インプレッション・ラーニング 代表取締役

藤山 晴久 さん



## プロフィール

立教大学経済学部卒。「人間関係の悩みを改善したい」「部下との信頼を厚くしたい」といった組織で働く人の悩みを解決すべく「ハラスメント研修」「信頼関係を築く部下育成研修」など様々な研修を企画。自身も講義でメッセージを伝える。

コロナ禍で、テレワークをする機会が増えた方多いのではないのでしょうか。様々な家庭の事情から快適に働く環境を整えることは意外に難しいものです。下駄箱の上、自家用車の運転席からオンライン会議をする人も実際にいます。このような状況下、テレワーク中でも、ハラスメントはなくなりません。

## テレワーク、オンライン上のセクハラ・パワハラ問題

オンラインでのコミュニケーションツールは便利な反面、仕事中にオンライン上でのハラスメントが後を絶ちません。「チャットを使って上司から食事の誘いが頻繁にくる」「オンラインで男

性上司と二人きりになった途端、部屋を見せて欲しいと懇願された女性部下「ニヤニヤしながら画面だと化粧が綺麗に見えると言われた」など会社であれば絶対に言わないことを、テレワークだと平気で言えるのです。もし部下がスマホで録画や録音していたら「そんなつもりはなかった」というようなお決まりの常套句は通用しません。

一方、部下から上司へのパワハラも増えています。進化するオンラインツールは覚えるのも一苦労です。「オンライン会議中、操作に手間取っていたら『小学生でもできますよ。もう歳じゃないですか』と参加者全員の前で年下の部下に失笑された」「操作が分からず部下や同僚に助けを求めたが、全員

から無視された」「目上の人に暴言を吐く若手が増えた」と嘆く上司もいます。

## テレワークのハラスメント防止に求められる大切なこと

会社で隣の人と気軽な雑談や、隣の部署の人と相談することが簡単にできません。部下からは「上司に相談しにくい」「何気ない雑談ができない」、上司からは「部下がさぼっていないか心配」「電話が苦手な部下と連絡がとりづらい」などの悩みを受けます。会話の量が減ることがストレスや孤独感につながります。社内の人に対して威圧的な態度、横柄な態度をとる人が増えた事例もありました。今は有事のテレワーク

です。物理的な距離が離れているからこそ、職場の仲間を互いに思いやる努力を全員がしないと組織は何も変わりません。この当たり前の言動がハラスメント防止のために、私たち一人ひとりに今、求められています。



# 「コロナ失業」への 心理的な支援

法政大学キャリアデザイン学部 教授 廣川 進 さん

日本では失業率と自殺率はとても相関が高いです。近年は失業率が3%を切り、自殺者も2万人にまで下がっていたのですが、昨年来のコロナの影響で再び失業率は3%を超えて、飲食や旅行関連の分野などは更に悪化が予想されます。

## 高いうつ病と自殺念慮の割合

以前にある地域のハローワークで求職中の男女30人の方にインタビュー調査を行ったことがあります。うつ病の尺度を測ってもらったところ、平均でも「軽度の抑うつ」と「中程度のうつ病」の間でした。また2割強の人に自殺念慮・企図・未遂の経験があったことは驚きでした。多くの人は、失業前の労

働環境も過酷で、失業、転職、転居転地、加齢を重ねるごとに雇用環境が悪化してしまいました。失うものは安定した収入だけではありません。社会的なつながり、血縁、職場のつながり(職縁)、地域のつながり(地縁)などの関係性や心理的な居場所も失い、未来への展望や時間感覚も薄れ、心身の不調や抑うつ感が強まっていくのです。

## 支援の可能性

こつしたさまざまな喪失を抱えている人の支援にはどんなことが必要なのでしょう。

①失業で失ったもの、傷つきを察すること。無職であることの引け目や辞める前からの他者への不信任などが加

わると、援助を求めにくい気持ちが強まる可能性もあります。見落としがちですが、親きょうだい、友人知人にも助けを求めにくいのです。そこで人との関わりの機会を増やし、相談サービスへのハードルをどうやって下げるかがポイントになるでしょう。

②私が長期間の失業中だと仮定して、あったらいいものを以下に挙げてみます。

・ほっとできる、和める空間：ハローワーク近くに猫カフェ、犬を撫でられる所・足湯、肩もみ。  
・ハローワークで知り合った人とちょっと立ち寄れる所・喫茶店、レストラン、居酒屋、卓球場、ボウリング場。できるだけ安価な場所で持ち寄りの茶



## プロフィール

臨床心理士。日本キャリア・カウンセリング学会会長、海上保安庁メンタルヘルス対策アドバイザー・パワハラ防止対策委員、東京産業保健総合支援センター相談員、被害者支援都民センター理事。専門は産業領域における心理的援助全般。著書に『心理カウンセラーが教える「がんばり過ぎて疲れてしまう」がラクになる本』(ディスカバー・トゥエンティワン)。金子書房note「こころのディスタンス」  
<https://www.note.kanekoshobo.co.jp/m/mcaf2e75df502?gs=772a709ac9b2>

話会とかもできないでしょうか。

・ちよっとボランティア：保育園や小学校、駐輪場での雑用・整理、介護施設の雑用、配達など。作業の合間におしゃべりできることも救いになります。

・キャリアエンジンの機会を広げる。たとえば長く製造業しかやってこなかった人が人的サービス業への転換のために、関連するアルバイトを試せるような機会を増やす。



# 就職氷河期世代の 安定就労を目指す！

産業労働部政策労働局労政福祉課  
雇用就業室



## プロフィール

産業労働部政策労働局労政福祉課  
雇用就業室  
電話：078-362-3227  
FAX：078-362-3392  
Eメール：koyoshugyo@pref.hyogo.lg.jp

兵庫県では就職氷河期世代の未就職者等を対象に就労支援プログラムを実施しています。産業労働部政策労働局労政福祉課雇用就業室にお話を伺いました。

Q 就職氷河期世代への支援

A 就職氷河期世代とは1993年から2004年に学校を卒業した方をさします。当時はバブル崩壊により就職をしたくてもできない状況がありました。非正規雇用で採用され、現在も正社員として働かず、正規雇用を希望していても、採用されないなど、支援が必要な方が100万人程度いると言われていました。社会保障費や8050問題の面からも支援が必要とされており、兵庫県でも昨年度から就職氷河期世代への就労支援プログラムに取り組んでいます。

Q 就職氷河期世代就労支援プログラムの内容は

A 就職氷河期世代の未就職者等を対象に1か月間の社会人基礎研修と職場体験を組み合わせた実践的な研修に参加し、その後は専門スタッフのサポートを受けながら3か月間で兵庫県内企業への安定就労を目指す全4か月間のプログラムです。

Q プログラムの内容は

A グループワークやディスカッションを中心とした参加型プログラムです。参加者同士がコミュニケーションをとりながら、自分では気が付かなかった自分の強みや自分らしさを再認識し、職業の可能性を考える機会となっています。社会人基礎力のブラッシュアップ、働くための自分軸の明確化、具体的な面接準備と対策を3本柱として個別相談やサポートを受けながら早期就職を目指す内容となっています。

Q 参加者の反応は

A プログラムにおいて就職活動の基礎を学び、他の方とのコミュニケーションを取ることにより自信がつき、自分の人生を考えなおすことができたなど、就職活動に向けて前向きに取り組めるようになっていきます。

Q 県民の皆様へメッセージ

A 一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな支援を行い、誰もが自分らしい働き方ができる社会づくりを目指していきます。

就労支援プログラム申し込みはこちらから



<https://career-yell.jp/shushoku-hyogaki-shien>



## 会社員でぶどり

(全6巻)

この本はニトリ会社員でぶどりのゆるくてブラックな日常が書かれた4コマ漫画です。

ちょっとくつたらなニトリ会社員でぶどりと、有能な後輩・ひよをメインキャラクターに、繰り広げる日常には、自分の働き方、普段の行動について考えさせられてしまう場面が満載です。働く人の思いを代弁する「会社員あるある」と、どこにでもあるような個性を持つ鳥のキャラクターが親近感を沸かせています。ほのぼのした絵の中にブラックな要素がちりばめられていて、それらに対する後輩ひよの鋭い視点が見る者の心をつく内容です。



橋本ナオキ著  
発行所／産業編集センター

# 諦めたらあかん！ まだ大丈夫や

特定非営利活動法人  
人生やり直し道場 理事長  
鈴木 啓之 さん



## プロフィール

1955年大阪市生野区生まれ。欲望のままに人生を送り、17歳でヤクザの世界に入る。その後、自分の過ちから組織の数千人に命を狙われ、逃亡生活を送る。1990年回心の末、東京中央学院にて神学を学ぶ。1995年シロアムキリスト教会開拓。2001年自身の半生を描いた「親分はイエス様」が劇場公開。2004年府中刑務所にて教誨師の任命を受け、犯罪者の再犯防止と受刑者の再出発のために務める。2009年人生やり直し道場設立。現在、人生やり直し道場長、平成駆け込み寺代表、シロアムキリスト教会主任牧師を務め、国内外を問わず青少年育成のために従事している。

「諦めたらあかん！ まだ大丈夫や」  
そう語りかけてくれた方がいました。なぜか嬉しかった。ごくありきたりな言葉かもしれませんが。

しかし、人生に行き詰まり、命を狙われ死の恐怖に怯えながら逃亡している自分には何よりもありがたい言葉でした。きっと心のどこかでだれでもいいからまだ大丈夫だよと言って欲しかったのかもしれませんが。

## 問題は本当に問題なのだろうか

問題を抱えた人生のやり直しには、死すら覚悟する状況もありましたが、この言葉を支えに「諦めたらあかん！ まだ大丈夫や」と自分に言い聞かせ、無我夢中で生きてきました。

そして問題から逃げることをやめ、できることを誠実に対処して生きていくと心に決めてから32年がたちました。今では問題と思っていたことが問題ではなく、問題とは思っていた中で生み出される産物であることを悟りました。

## 言葉にすることを引き寄せる

今世紀最大の災害とも言える新型コロナウイルス感染症。誰もが経験したことがなく、いまなお終わりが見えない状況に、沢山の方からSOS相談がきます。感染に対する不安もさることながら人間関係や経済的な問題など、多種多様な問題に「狂いそうかどうか」に辛いなら「生きていることがこんなに辛いならいっそ死んでしまいたい」と嘆かれます。

私はそんな人たちに声を大にして言わせていただきます。  
「諦めたらあかん！ まだ大丈夫や」と。

少しでも生きる勇気が湧き、希望が生まれるならこんな素晴らしいことはないと思います。

## 人は人を変えられない

10数年前、刑務所の教誨（きょうい）カウンセラー（カウンセラー）で40代の男性と出会いました。出所後、教誨での「諦めたらあかん！ まだ大丈夫や」という言葉を信

じて、医者になりたいと訪ねてきました。しかし薬物の使用で受刑生活をした彼にとつて医者になるということは簡単なことではなく、私のできることは環境を整え、励まし続けることしかありませんでした。

たとえ国家試験に合格しても医師免許が与えられるかどうか何の保証もない中で彼は一心不乱に目標を目指して頑張りました。前科者というハンディを乗り越え、偏見にも耐え、見事1年で合格し、その後5年間、彼が医師として適切かどうか素行調査をした上で医者としての資格が与えられ、今では立派なお医者さんとして多くの悩める人を助ける人へと人生を変えました。

人はその内に無限の可能性を持っています。その可能性を引き出す為に私がそうしていただいたように私も人を偏つて見ることなく多様性を認めつつ「諦めたらあかん！ まだ大丈夫や」と語り続ける者でありたいと思います。

## 映画紹介



© 2020 Vivo film/Tarantula Photo by Emanuela Scarpa

■監督・脚本:スザンナ・ニッキアレツリ

■2020年製作/イタリア・ベルギー/107分

■配給:ミモザフィルムズ

■シネ・リーブル神戸で10月8日公開

■お問い合わせは、078(334)2126

## 『ミス・マルクス』

男女平等を唱え、頭では理解している。それでいて家事労働、子育て、親戚つきあいは女性に任せっきり。なおかつ自己矛盾に悩むこともない。「自分はそんな男ではない」と心底言い切れる男性が日本に何割いるのでしょうか。

本作の主人公エリノア・マルクスはカール・マルクスの末娘です。父の遺志を継ぎ、労働条件の改善、児童労働の禁止、男女平等教育の実現、普通選挙実現のための活動に身を捧げました。10代からマルクスの秘書を務めるほどの秀才でしたが、私生活では、同じく活動家である内縁の夫の不貞に悩まされます。

貧しい労働者の味方を公言しながら金遣いが荒く、エリノアを愛していると言いながら不貞をやめない。そんな男のために、エリノアのような聡明な人物が生涯を左右される不条理。彼女の生きた19世紀、そして今もなお、男と女の間にはあまねく巢食う差別の歴史が流れているのです。

# ひょうご・ヒューマンフェスティバル 2021 in にしわき を盛大に開催!

8月7日(土)、西脇市市民交流施設「オリナス」で、「ひょうご・ヒューマンフェスティバル2021 in にしわき」を開催しました。西脇市出身のAOIさんによるミニライブで幕を開け、大いに盛り上がりました。

人権講演会では、「違いは武器に」と題して、俳優でタレントでもある副島淳さんにご講演いただきました。

他にも、人権ユニバーサル事業として、ポッチャ体験や車いすツインバスケットボール体験、知的・発達障害疑似体験が、また子ども多文化共生イベント、映画上映、キャラクターショーなどが開催され、人権を身近に感じ、人権について考える楽しい1日となりました。



開会式



講演会 副島さん



多文化衣装

相談無料

匿名可

プライバシー厳守

ハラスメントで悩んでいませんか?

## ハラスメント悩み相談室



<https://harasu-soudan.mhlw.go.jp/>

- マタハラ等 妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメント
- セクシャルハラスメント ● パワーハラスメント

電話相談 / **0120-714-864**

電話対応時間 / 月曜～金曜 12:00～21:00 / 土曜・日曜 10:00～17:00

祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)を除く。携帯電話・スマートフォンからも通話できます。

メール相談 / 相談フォームより相談 または [mail@harasu-soudan.mhlw.go.jp](mailto:mail@harasu-soudan.mhlw.go.jp)

詳しくは [ハラスメント悩み相談室](#) [検索](#)



### 9月号訂正について

9月号の表紙にて誤りがありました。修正してお詫び申し上げます。

誤

「感染対策は大切。でも同じくらいフレイル対策も大切。」

塗田 一雄さん(神戸市介護保険課 作業療法士)

河石 優さん(神戸市介護保険課 理学療法士)

正

「感染対策は大切 でも同じくらいフレイル対策も大切」

塗田 一雄さん(作業療法士)

河石 優さん(理学療法士)

読者の皆様及び関係者各位にご迷惑をおかけしましたことを、重ねてお詫び申し上げます。

ラジオ関西

「谷五郎の笑って暮らそう」

(毎週火曜日10:00～13:00)で、12:30頃から「きずな」の記事等を紹介しています。

HALF TIME



「ひょうご人権ジャーナルきずな」読者アンケートへ多くのご回答をお寄せいただきありがとうございました。

アンケートは10月5日まで延長して受け付けていますので協会ホームページの「お知らせ」よりアクセスいただきご回答ください。

「きずな」は、協会ホームページからもご覧いただけます。

兵庫県人権啓発協会

検索



(公財)兵庫県人権啓発協会 〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15 県立のじぎく会館内  
TEL 078(242)5355 FAX 078(242)5360 [info@hyogo-jinken.or.jp](mailto:info@hyogo-jinken.or.jp)

2021(令和3)年10月発行